リサイクル率

94.0%

水平リサイクルで、ゴミを資源に変える

アルミニウムと聞いて多くの人が思い浮かべる"アルミ缶"。実は、日本ではその94.0%※が缶から缶へリサイクルされる"水平リサイクル"で循環しています。そのほかにもIT機器や自動車、新幹線など、身近なところでもリサイクルされたアルミニウムの活用が広がりはじめています。これからも持続可能な社会、循環型社会の形成に取り組んでいきます。

※ 2020年度の国内リサイクル率（アルミ缶リサイクル協会調べ）

CO_2排出量

97%削減

リサイクル材の活用で製造時のCO_2排出量を97%削減する

気候変動問題を契機にクローズアップされるCO_2。アルミニウムのリサイクルは、そのCO_2の排出量削減に大きく貢献します。リサイクルしてアルミニウムを製造する時のCO_2排出量は、地下資源から製錬した際の約3%に。リサイクルしたアルミニウムを1トン使用することで、CO_2の排出量を約9トン削減できます。

1台当たりの10年間のCO_2排出量

2トン削減

アルミニウムによる軽量化で、自動車走行時のCO_2排出量を抑制する

自動車の燃費規制が強化されるとともに、軽量化に貢献するアルミニウムは年々使用量が増加しています。新地金製造時のCO_2排出量が鉄より多いアルミニウムですが、走行時のCO_2排出量は大きく軽減。1台当たりの使用量が増えるほど軽減量は大きくなり、10年ほど走行すると約2トンのCO_2排出量の削減になります。

強い

軽い

毒性が
ない

アルミニウムの可能性は
これからも拡大へ。

磁気を
帯びない

耐食性が
良い